



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）10月5日号 No. 1541

目次

■ プーチンの大統領復帰「確定」をめぐって	服部 倫卓 1
■ 政治家に転身したオリガルヒ・プロホロフ氏	原 真澄 6
■ 統計速報	8
2011年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／8	
2011年1～8月の日ロ貿易／9	
■ トピックス	10
三菱東京UFJ、ロシア大手銀と提携／10	
NECが情報通信などでロスナノと協定／10	
日ロ証券保管振替機構が相互協力で覚書／11	
富士フイルム、ウクライナに現法設立／11	
NEDOがウクライナで省エネプロジェクト／11	
東芝、レアメタル販売でカザフ国営企業と合弁／11	

プーチンの大統領復帰「確定」をめぐって

ロシアNIS経済研究所 次長

服部 倫卓

はじめに

ロシアで9月24日、政権与党「統一ロシア」の党大会が開かれた。大会で演壇に立ったメドヴェージェフ大統領は、2012年3月の大統領選挙に同党からプーチン現首相を擁立することを提案した。むろん、形式論から言えば国民が選挙で大統領を選ぶわけだが、現体制を代表して戦う候補者が確定したことで、ロシアを悩ませてきた「2012年問題」には実質的に終止符が打たれた。かねてから可能性を指摘されていたプーチン氏の大統領復帰というシナリオが実現することが、確実となったわけである。現大統領のメドヴェージェフ氏は、「統一ロシア」の候補者名簿の筆頭で本年12月の下院選挙を戦ったのちに、プーチン大統領の下で首相に就任することになった。今回の速報では、現地専門家の分析に依拠しながら、今回の動きにつき簡単に整理・考察を試みる。なお、付属コラムとして著名なオリガルヒであるプロホロフ氏に関する小文も掲載するので、そちらもご参照いただきたい。